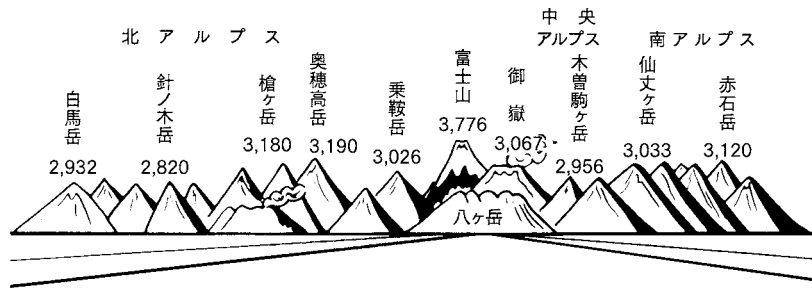
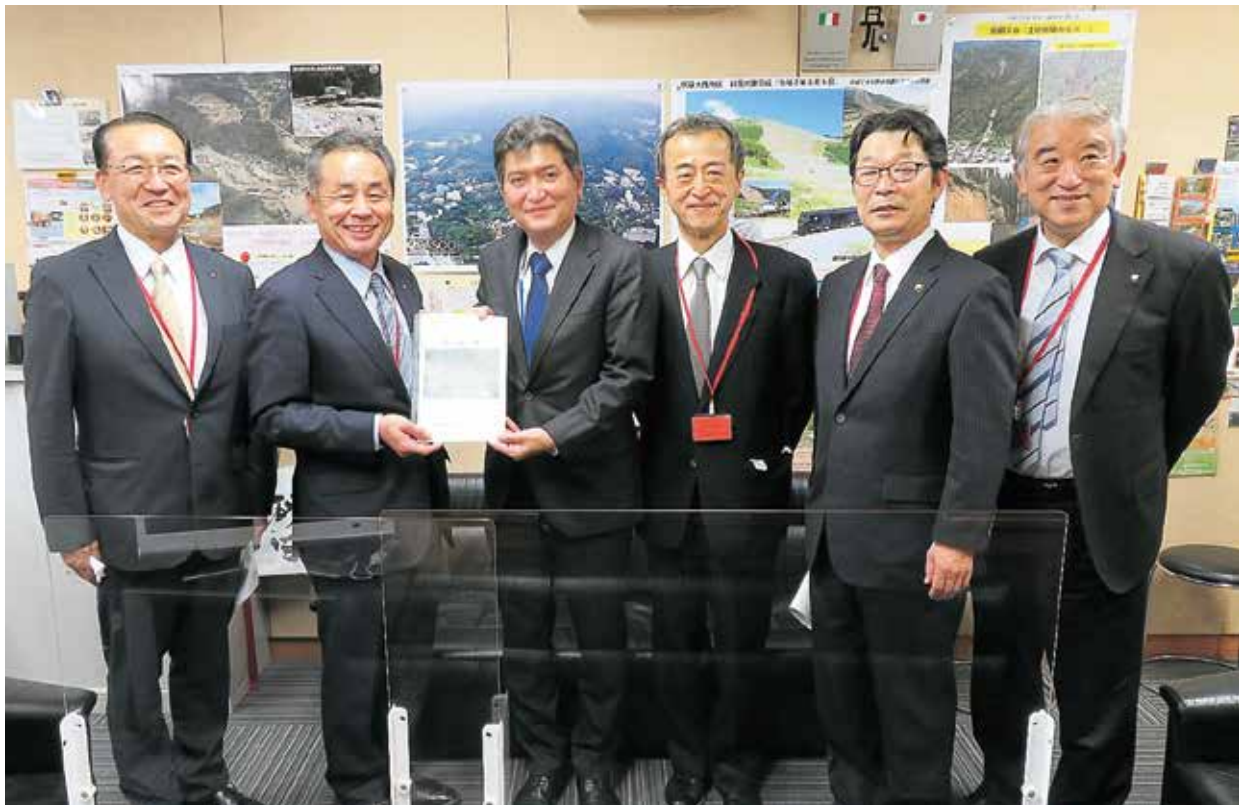


第 70 号

令和4年3月



砂防ニュースレター「長野」



国土交通省 砂防部長室において
令和3年11月18日藤澤会長から要望書を手渡しました

目 次

・全国治水砂防促進大会の様子 …………… 2	・赤牛先生派遣事業 …………… 10
・要望活動の様子 …………… 3～5	・赤木正雄顕彰「赤木功績賞」受賞 …… 11
・災害伝承カード第3弾完成 …………… 6, 7	・令和4年度長野県砂防関係予算 …… 11
・砂防施設の登録有形文化財に 登録されました …………… 8, 9	・あいさつ書記高橋 …………… 12
・滝の沢砂防堰堤完成記念植樹式の様子 …………… 10	・令和4年長野県治水砂防協会行事予定等 …………… 12

全国治水砂防促進大会が開催される

令和3年11月18日（木）（一社）全国治水砂防協会主催の全国治水砂防促進大会は、砂防会館別館シェーンバッハ・サボで（東京都千代田区）開催されました。昨年同様にソーシャルディスタンスを確保するなど、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上での開催となり、今年も総席数は例年の半分程度でした。

当日は、全国から会員等1,300名超が出席し、全国治水砂防協会長野県支部は藤澤泰彦県協会会長をはじめ全国最多の33名の市町村長様、会員関係者にご出席いただき、活気に満ちた大会になりました。

大会では、齊藤鉄夫国土交通大臣の祝辞に続き、三上幸三国土交通省砂防部長から【「いのち」と「くらし」を守る砂防の取り組み】と題しご講演いただくとともに、日置敏明岐阜県郡上市市長から「奥田洞谷における砂防事業と警戒避難体制について」と題して意見発表をいただきました。最後に大会提言決議を小林則幸全国治水砂防協会副会長が説明され満場一致での採択となり、閉会後は関係各方面に要望活動を行うことができました。



オンライン上映会場 3階「六甲会議室」様子



砂防事業の推進について

巨額巨災、甚大な自然破壊に直面する一方、県土の多くが急峻な地形と険しい山岳で構成され、古来よりから3年連続して大人身体被害も発生してきた。また、台風トラフは人口密度や人口密度が低い河川流域などの脆弱な地域、河川内、湖沼内、湖沼内、湖沼内などの大規模災害による大規模災害の危険にも常に晒されている。このため県民としては、河川防災対策等の準備を急務に感じている。

また、記録的な豪雨となった令和元年東日本台風災害等の被害を踏まえ、県は山形県・札幌市と一体で取り組む「国土強靱化プロジェクト」や、防災多額の国土強靱化で治水安全度を高める「治水強靱化」を推進している。

我が国では、気候変動の影響と思われる異常気象が頻発し、また大規模地震発生も頻発している。一方、高度成長期に築かれたインフラが今後一層に老朽化することが見込まれるため、持続可能な活力ある地域を創出するために、防災・減災対策、国土強靱化を一層推進することが喫緊の課題であり、国においては「防災・減災、国土強靱化のための5か年中期計画」により、国庫の更なる増進に「強化を促すこととしている。

一方、コロナ禍が地方経済に及ぼした深刻な影響が長期化しており、砂防事業等の進展にあたっては、県民の安全安心の確保に加え、地域の経済を支援する効果を生きていることについても、十分に留意する必要がある。

このように県民の生命、財産を守る砂防対策について、ソフト・ハード両面から砂防事業を推進し、防災強靱化を推進することが強く求められている。

よって、これらの課題解決に向け、国庫の更なる増進に促すこと、次の事項を支援されるよう強く要請する。

要

- 1 強靱な国土づくりを計画的かつ積極的に推進するため、土砂・洪水災害対策も含めた土砂災害対策を策定に基き、(防災・減災、国土強靱化のための5か年中期計画)の取組が、中長期的見通しのもと、実効的かつ継続的に進められるよう、当初予算の編成にあたっては、当初予算において必要な予算を確保すること。
- 2 県中野河等の発生時に、住民が速やかに、かつ具体的に避難できるようにするため、わかりやすく細かい情報発信を行う体制の整備や、ハザードマップ・地区防災計画の作成支援などのソフト対策を加速するよう、財政面を強化すること。
- 3 経済成長からの砂防関係施設を多岐有する長野県においては、既存施設を有効活用した土砂災害対策を進める必要があるため、長年計画を策定した全ての砂防関係施設を緊急防災事業の対象とするなど、地域の課題に応じた事業を拡充すること。
- 4 火山は、噴火時に大規模な災害が発生させ、かつその復旧に高度な技術を開発することから、知見を有する国の実態を強化すること。
- 5 大規模災害からの早期復旧、被害拡大防止を図るために国による技術的な支援が不可欠となるため、災害時の市町村等への支援を強化すること。また、それを支える地方整備局等の防災関係の人員、体制の拡充を図ること。また、地方大学における教育者の確保など、砂防にかかわる専門的知識や経験を有する技術者・研究者の育成に取り組むこと。
- 6 新型コロナウイルス感染症の収束後、復興した地方経済を早期に回復させるため、地域の雇用確保にもつながる土砂災害対策の推進に資する予算の配分を安定的・継続的に確保すること。

要 望 書

小泉町砂防・国庫市 進

※令和3年8月実施では、土石流を抑制し、下流への被害防止効果を発揮
(平成18年7月豪雨で死者7名、全壊7棟の被害があった実績)

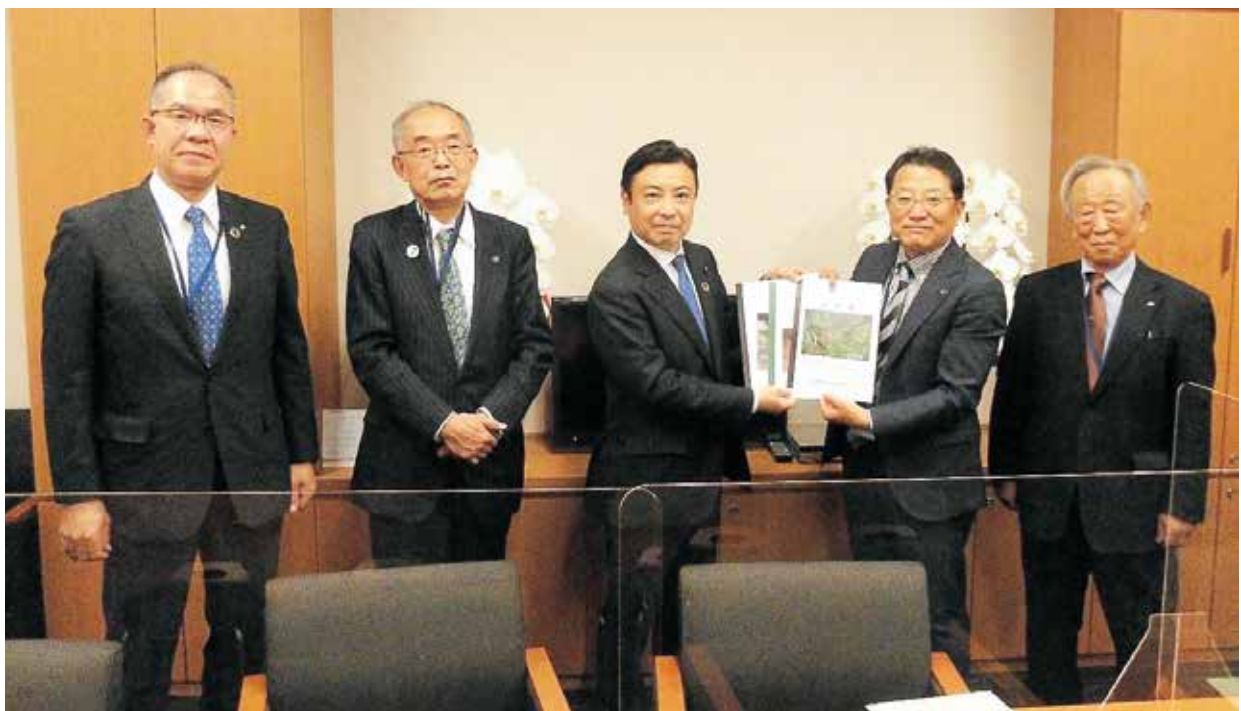
令和3年11月18日
長野県治水砂防協会

要望活動を行いました

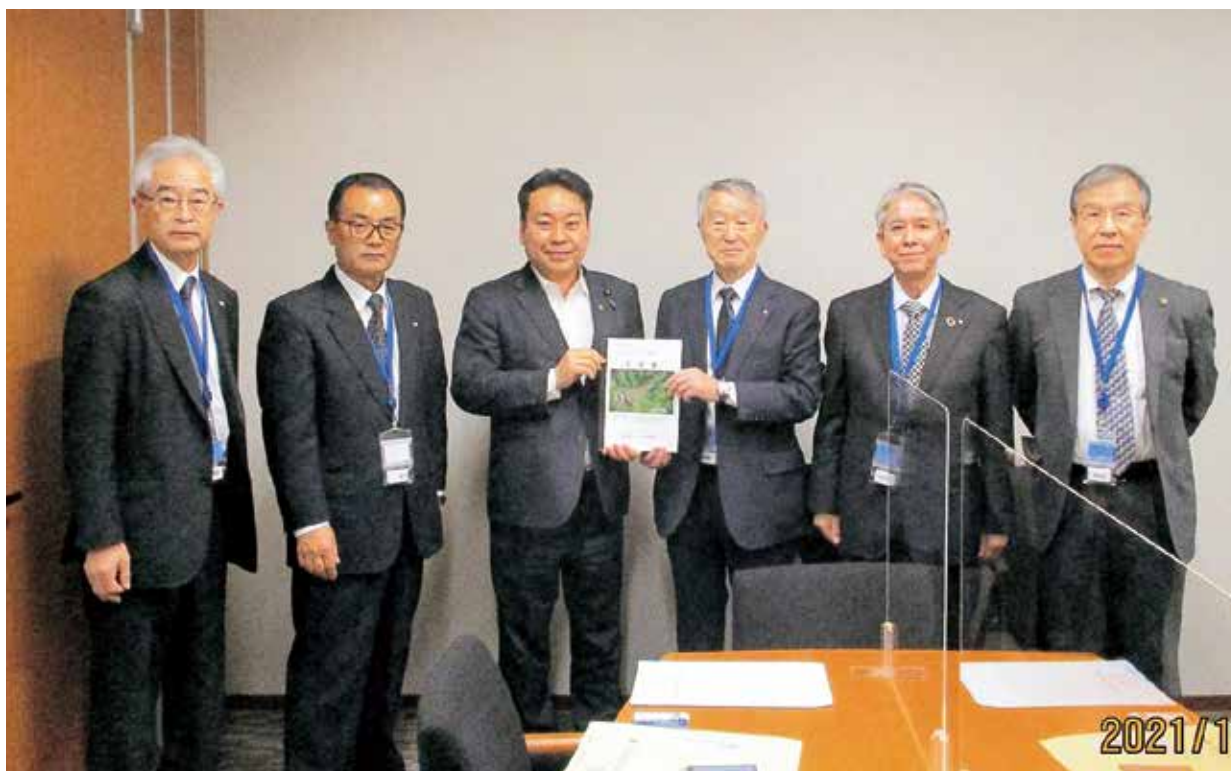
長野県治水砂防協会では、全国治水砂防促進大会が行われた日の午後に国土交通省、県選出衆・参国會議員へ要望活動を行いました。県協会役員その他岡谷市長様、茅野市長様にも要望活動にご参加いただきました。県内市町村長様をはじめ関係皆様にご参加いただきましたことに、この場をお借りして御礼申し上げます。



宮下 一郎 衆議院議員（中央右）



中川 宏昌 衆議院議員（中央）



羽田 次郎 参議院議員（中央左）



廣瀬 昌由 国土交通省 大臣官房技術審議官（中央）

災害伝承カード第三弾の配布を始めます

長野県内各地の災害の記録を、石碑や祀（祭）り、伝説、地名などに託して後世に伝える「災害伝承」の営みは、古くから生活の知恵として行われてきました。

これら先人の知恵を広く伝え、将来にわたって災害による被害を減らすことができるように、長野県建設部砂防課と長野県立歴史館では、平成29年度から災害伝承についてホームページで情報発信を行っています。

長野県治水砂防協会では、災害伝承について広く周知することを目的に、県内市町村の災害情報などを記載した「災害伝承カード」の取組に参加しています。

災害伝承カードは、第一弾として令和元年11月5日から10種類を、第二弾として令和3年3月12日から32種類を作成し、各地区の建設事務所・砂防事務所で配布を行っています。今年度は、第三弾として45種類を作成し、令和4年3月中旬頃から配布を開始する予定です。

災害伝承カードは、第一弾から第三弾の計87種類のカードにより、県内77市町村を網羅しました。会員の皆様に完成版を配布させていただきますので、どうぞお楽しみください。



災害伝承カード広報用ポスター



災害伝承カード 野沢温泉村「蛇抜沢と金比羅大権現」
(↑おもて面、→うら面)



過去の災害に学ぶページ

検索

<https://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/manabu/manabu.html>



災害伝承カード一覧表（令和4年2月末時点）

No	災害の遺跡	市町村名	配布開始日	No	災害の遺跡	市町村名	配布開始日
1	松原湖	小海町	令和元年11月5日～	43	臥雲（がうん）の三本杉	長野市	令和4年3月18日～
2	船魂社のシダレザクラ	岡谷市	〃	44	水止めの石	松本市	〃
3	遠山川の埋没林	飯田市	〃	45	水害を防いだ釜岩	飯田市	〃
4	大正池「焼岳・大正池」	松本市	〃	46	夜泣き石	飯田市	〃
5	防災メモリアル 地附山公園	長野市	〃	47	西山公園	諏訪市	〃
6	安政の川除「羽毛山堤防」	東御市	〃	48	宇原川	須坂市	〃
7	理兵衛堤防	中川村	〃	49	中沢川	小諸市	〃
8	蛇ぬけの碑・悲しめる乙女の碑	南木曾町	〃	50	霞提	伊那市	〃
9	乳川石堤	大町市	〃	51	「戌の満水」地蔵菩薩	飯山市	〃
10	黄金石地蔵尊	飯山市	〃	52	守屋山	茅野市	〃
11	妙寺千曲川洪水水位標外	長野市	令和3年3月12日～	53	池ノ沢	塩尻市	〃
12	千人塚（正福寺）	上田市	〃	54	千曲川 舟つなぎ石	佐久市	〃
13	サンヨリコヨリ	伊那市	〃	55	八間石	東御市	〃
14	阪本天山の墾田の碑	駒ヶ根市	〃	56	千曲川・信濃川水源地標	川上村	〃
15	大俣の水神祭	中野市	〃	57	海ノ口湊神社	南牧村	〃
16	鹿嶋神社	大町市	〃	58	木村・高橋両神社	南相木村	〃
17	旧中込学校藤棚	佐久市	〃	59	自福寺	佐久穂町	〃
18	荏沢川石堰堤	千曲市	〃	60	真楽寺	御代田町	〃
19	旧国鉄篠ノ井線廃線敷	安曇野市	〃	61	鳴石（なるいし）	立科町	〃
20	三滝	北相木村	〃	62	川除古木	富士見町	〃
21	浅間神社	軽井沢町	〃	63	阿弥陀岳	原村	〃
22	雨乞い地蔵	青木村	〃	64	赤羽災害伝承碑	辰野町	〃
23	一文字堤防	長和町	〃	65	隅之木碑	飯島町	〃
24	砥川	下諏訪町	〃	66	御射山社跡（鳥居跡）	南箕輪村	〃
25	くらがり沢の蛇抜け	箕輪町	〃	67	こもれ陽の径（土石流堆）	宮田村	〃
26	竜口龍神の舞	高森町	〃	68	小八郎岳	松川町	〃
27	雲谷寺の鐘	平谷村	〃	69	早稲田公園大時計	阿南町	〃
28	坂部のかけ踊り	天龍村	〃	70	川除け及び弁天の森	阿智村	〃
29	伴野堤防・河野堤防	豊丘村	〃	71	釜ヶ入の窟穴（黒体竜王）	根羽村	〃
30	蛙（かわず）岩	上松町	〃	72	大山田神社	下條村	〃
31	極楽寺	木祖村	〃	73	かみなり岩・呼ばり岩	売木村	〃
32	自然湖（長野県西部地震）	王滝村	〃	74	成瀬が淵の女	泰阜村	〃
33	芦澤の石積堰堤	麻績村	〃	75	九十九谷（くじゅうくたに）森林公園	喬木村	〃
34	差切峡公園（竜王権現像）	筑北村	〃	76	大西公園	大鹿村	〃
35	川會神社	池田町	〃	77	大正12年水害	大桑村	〃
36	万度宮	松川村	〃	78	木曾川堤防	木曾町	〃
37	森上の撓曲（断層崖）	白馬村	〃	79	中山神社 地震避け石	生坂村	〃
38	常山堤及び常山堤碑	坂城町	〃	80	小坂諏訪神社	山形村	〃
39	水中のしだれ桜	高山村	〃	81	避難供養塔	朝日村	〃
40	大蛇祭り	山ノ内町	〃	82	幸田文学碑（歲月茫茫）	小谷村	〃
41	鬼の首塚	木島平村	〃	83	千曲川大洪水水位標	小布施町	〃
42	薬師沢石張水路工	小川村	〃	84	蛇抜沢と金比羅大権現	野沢温泉村	〃
				85	黒姫物語	信濃町	〃
				86	長谷寺（善光寺地震供養塔）	飯綱町	〃
				87	矢櫃村跡	栄村	〃

長野県内の砂防施設の文化財（令和4年2月時点）

令和3年10月14日付けで、坪根堰堤（長野市戸隠）、牛伏川第二号堰堤他3基（松本市）、横湯川第一号堰堤他7基（山ノ内町）が国の登録有形文化財に登録されました。

これにより、県内の砂防施設のうち有形文化財に登録されている施設は、
【重要文化財：1件】 【登録有形文化財：28件】になりました。

種 別	重要文化財	登録有形文化財	
河川名	牛伏川	荇沢川	薬師沢
施設名称	牛伏川本流水路工	荇沢川 第一号石堰堤 他3基	薬師沢石張水路工 他3設備
市町村	松本市	千曲市	小川村
指定・登録日	平成24年7月9日 指定	平成21年1月8日 登録	平成21年1月8日 登録
施工年代	大正7年	明治17年頃	明治18年～明治後期
写真			

種 別	登録有形文化財		
河川名	芦澤	梓川	小渋川
施設名称	芦澤 第一号石積堰堤 他3基	釜ヶ淵堰堤 (直轄)	上蔵堰堤 (直轄)
市町村	麻績村	松本市	大鹿村
指定・登録日	平成26年10月7日 登録	平成14年8月21日 登録	平成21年4月28日 登録
施工年代	明治20年	昭和17年	昭和28年
写真			

種 別	登録有形文化財		
河川名	釜無川	裾花川	牛伏川
施設名称	唐沢堰堤 (直轄)	坪根堰堤	牛伏川 第二号堰堤 他3基
市町村	富士見町	長野市戸隠	松本市
指定・登録日	平成21年1月8日 登録	令和3年10月14 登録	令和3年10月14日 登録
施工年代	昭和25年	昭和27年	明治19～20年
写真			

種 別	登録有形文化財
河川名	横湯川
施設名称	横湯川 第一号堰堤 他7基
市町村	山ノ内町
指定・登録日	令和3年10月14日 登録
施工年代	大正13～昭和19年
写真	

◆地域の皆様との協働により、砂防施設の保存・維持管理をしています！



薬師沢草刈り



牛伏川草刈り

◆重要文化財 牛伏川本流水路(牛伏川階段工)保存活用計画が、令和4年2月18日付けで国の認定を受けました！

*「牛伏川本流水路」は、富山県の立山にある白岩砂防堰堤に次ぐ2例目として重要文化財に指定された砂防施設です

滝の沢砂防堰堤(小谷村)の完成記念植樹式が開催されました

姫川の支川である滝の沢は土石流危険渓流で、平成27年1月に融雪の影響により土石流が発生しました。その際、既設の堰堤が土石流を一部捕捉したため、被害がなかったものの、上流域には、不安定な土砂が堆積し、下流域にはJR大糸線等があり、再度、土石流が発生した際には甚大な被害が生じるおそれがあることから、砂防堰堤を整備しました。

令和3年10月23日に砂防堰堤の完成を記念し、宮澤敏文県議会議員、中村義明小谷村長、下川正剛白馬村長をはじめ地元関係者、工事施工関係者出席のもと小谷村主催による完成記念植樹式が開催されました。

【事業箇所】 (砂) 滝の沢 長野県 北安曇郡 小谷村 梨平
【事業概要】 砂防堰堤工(部分透過型) 1基 H=11.5m、L=95.0m



完成した滝の沢砂防堰堤



完成記念植樹式(10月23日開催)

赤牛先生派遣事業【砂防ボランティアによる防災教育事業】

長野県では令和元年度から「自らの命は自ら守る」意識を持つことを目的に県内各地の公民館や小中学校にてNPO法人長野県砂防ボランティア協会による防災教育事業を実施しています。

コロナ禍ではありますが、いつ起きるかわからない災害に備え、講座をお願いしたいと申込みがあり、令和3年度は、県内24箇所で開催(令和4年2月末時点)。800人を超える皆さまが受講しました。令和4年度も砂防ボランティア協会員が“赤牛”先生として地域の災害特性、災害伝承を身近な教訓として継続的な防災教育を展開します。

令和4年度は4月中旬以降、防災講座実施予定です。引き続き、コロナ禍の対応としてWeb会議ツールを用いた“オンライン赤牛先生”も実施予定です。

講座申込みは、24時間受付の「ながの電子申請サービス」をご利用ください。

詳しくは、県HP (<https://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/akaushi.html>) をご覧ください。



オンラインによる防災講座
【塩尻市榎川中学校】



小布施町役場での防災講座



上田市西内小学校での防災講座

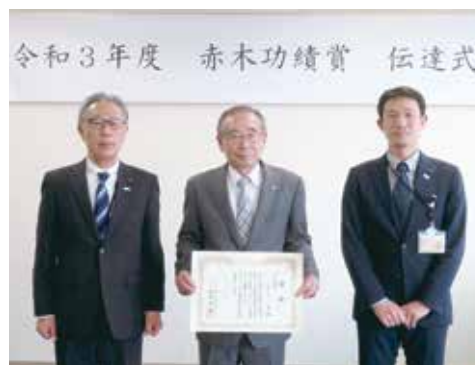
令和3年度 赤木正雄顕彰「赤木功績賞」受賞

赤木正雄顕彰は、「砂防の父」と呼ばれる赤木正雄先生の遺業を追慕するとともに、その志を伝えるために、昭和48年に創設され、一般社団法人全国治水砂防協会が、毎年、砂防技術及び事業の発展に功績のあった方を顕彰しています。

今年度は全国で17名の方が受賞され、長野県関係で平沢清様ひらさわが「赤木功績賞」を受賞しました。長野県職員として、県庁砂防課や現地機関において長年にわたり砂防事業の実施に尽力された功績が認められたものです。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京都での授与式には参加できませんでしたが、令和4年3月11日、飯田建設事務所所長室において伝達式を開催し、林孝標参事兼砂防課長から賞状が授与されました。

平沢 清様、ご受賞おめでとうございます。



令和4年度 長野県砂防関係予算

近年頻発・激甚化する自然災害を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等により、防災・減災対策を集中的に実施するとともに、再度災害防止のための緊急土砂災害対策、除石等による既存堰堤の機能増進等、流域を保全するための土砂災害対策を進めるための経費が計上されました。

令和4年度の当初予算は、補助事業公共事業費が101億円余りで対前年比125.0%、県単独公共事業が6億1千万円余で対前年比97.9%となっています。災害関連事業等を加えた全体事業費は114億円余で、対前年比116.1%となっています。

当初予算と補正予算を併せた額は、216億円余となり、対前年比90.3%となります。

(単位：千円、%)

事業名	R3年度1月補正 (国補正対応分) (A)	R4年度 当初予算 (B)	(A)+(B) =(C)	R2年度2月補正 (国補正対応分) (D)	R3年度 当初予算 (E)	(D)+(E) =(F)	対前年比較	
							B/E	C/F
●砂防総務費	15,739	242,075	257,814	0	263,295	263,295	91.9	97.9
●補助公共事業								
□砂防費	5,081,960	5,329,064	10,411,024	8,484,532	4,609,683	13,094,215	115.6	79.5
□地すべり対策費	2,680,080	1,954,160	4,634,240	2,468,960	1,414,400	3,883,360	138.2	119.3
□急傾斜地崩壊対策費	2,462,720	2,831,920	5,294,640	3,200,080	2,066,480	5,266,560	137.0	100.5
小計	10,224,760	10,115,144	20,339,904	14,153,572	8,090,563	22,244,135	125.0	91.4
●災害関連事業								
□砂防費		150,000	150,000		300,000	300,000	50.0	50.0
□地すべり対策費		150,000	150,000		300,000	300,000	50.0	50.0
□急傾斜地崩壊対策費		100,000	100,000		200,000	200,000	50.0	50.0
小計	0	400,000	400,000	0	800,000	800,000	50.0	50.0
●県単独公共事業費								
□砂防費		372,455	372,455		380,536	380,536	97.9	97.9
□地すべり対策費		97,399	97,399		107,399	107,399	90.7	90.7
□急傾斜地崩壊対策費		145,367	145,367		140,367	140,367	103.6	103.6
小計	0	615,221	615,221	0	628,302	628,302	97.9	97.9
●砂防受託費		72,000	72,000		72,000	72,000	100.0	100.0
計	10,240,499	11,444,440	21,684,939	14,153,572	9,854,160	24,007,732	116.1	90.3

大変お世話になりました



長野県治水砂防協会 書記 高橋 千代子

このたび一身上の都合により令和4年3月末をもって退職することとなりました。会員の皆様のご指導のお蔭です。平成17年10月から16年5ヶ月勤めることが出来ました。いたらないところも多々あったと思いますがお許しただきたく存じます。

思い返すと最初は、首長さんの顔と名前を覚えるのに必死でした。時間はかかりましたが。今では、気軽にお声かけいただいて嬉しく思います。

私が勤め始めた当時の長野県参事兼砂防課長は故原 義文様でした。亡くなられた事が大変残念ですが、今でも懐かしく思い出します。その後、栗原 淳一様、長井 隆幸様、田中 秀基様、蒲原 潤一様、田下 昌志（現長野県建設部長）様、藤本 済（現松本建設事務所長）様、令和3年度は林 孝標様です。

一番の良き思い出は、市町村長の皆様と歴代の砂防課長様と懇親会ができた事です。毎年5月全国治水砂防協会通常総会、11月全国治水砂防促進大会に併せて年2回東京赤坂の今は閉店してしまっただけで大勢の市町村長様にご参加いただき、密々のなか大盛況でした。阿部県知事が急遽参加され大勢の市町村長様と意気投合して盛り上がった事もありました。

残念だったのは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月6日、当協会の通常総会が初の書面開催になってしまった事です。会員の皆様とお会いする機会も減り、未だ新型コロナウイルスの感染は続いています。一日も早い収束を願うばかりです。

さて、この一年間は、会員の皆様のご配慮により、引継期間として、市村由美書記と一緒に仕事をさせていただきました。4月以降の市村書記をこれまで同様温かくご指導いただければと思います。

最後になりましたが、長野県治水砂防協会の益々のご発展と会員の皆様、関係各位のご活躍、ご健勝をご祈念申し上げます。春寒の折、皆様にはくれぐれもご自愛のほどお祈りいたします。

令和4年長野県治水砂防協会行事予定等

2月8日（火）	長野県砂防講演会：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
2月16日（水）	第62回砂防および地すべり防止講習会：	〃
5月26日（木）	全国治水砂防協会通常総会	東京都：シェーンバッハ・サボー利根
〃	長野県砂防講演会	東京都：砂防会館別館B棟3階「穂高」
〃	長野県治水砂防協会懇親会	東京都：全国町村会館2階A・Bホール
7月8日（金）	長野県治水砂防協会監査	松川村役場：松川村長、池田町長
7月15日（金）	長野県治水砂防協会理事会	長野市：ホテル犀北館
8月2日（火）	第9回土砂災害対策実務者講習会	東京都：シェーンバッハ・サボー利根
8月5日（金）	長野県治水砂防協会通常総会	長野市：メルパルクNAGANO 3階「白鳳」
	長野県砂防講演会	〃
	長野県治水砂防協会懇親会	〃
10月27日（木）～28日（金）	全国治水砂防協会主催	対 象：市町村長（ご本人）
	第9回砂防現地視察と討論会	視察先：宮城県
10～11月上旬	全国治水砂防協会令和4年度北陸信越地区支部長・参与会議	開催地：長野県白馬村
11月15日（火）	全国治水砂防促進大会	東京都：シェーンバッハ・サボー利根
〃	長野県治水砂防協会要望活動	東京都：衆・参議員会館、国土交通省

●第70号 編集・発行 長野県治水砂防協会 〒380-8570 長野市大字南長野幅下692-2 長野県庁砂防課内
TEL：026(232)0144 FAX：026(233)4029 E-mail：n-sabo@sky.plala.or.jp